

日頃から**備蓄品**などを備えましょう！

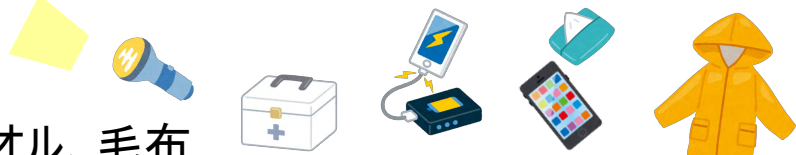
災害時でも健康に過ごすため、各家庭で工夫して必要な備蓄に取り組みましょう。

非常時持ち出し品の一例

非常時持ち出し袋を用意して、これらをすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

非常食品

飲料水や簡単な調理で食べられるものなどを1日以上用意しておきましょう。(1人当たり3リットルの飲料水が1日分の目安です。)



その他

防寒着、下着、レインコート、タオル、毛布
ティッシュペーパー、生理用品、レジャーシート、携帯電話、充電用バッテリー、
懐中電灯、現金、非常時持ち出し品(運転免許証、通帳、はんこ、保険証、
救急用品、持病の薬)など。

防災訓練に参加しましょう！

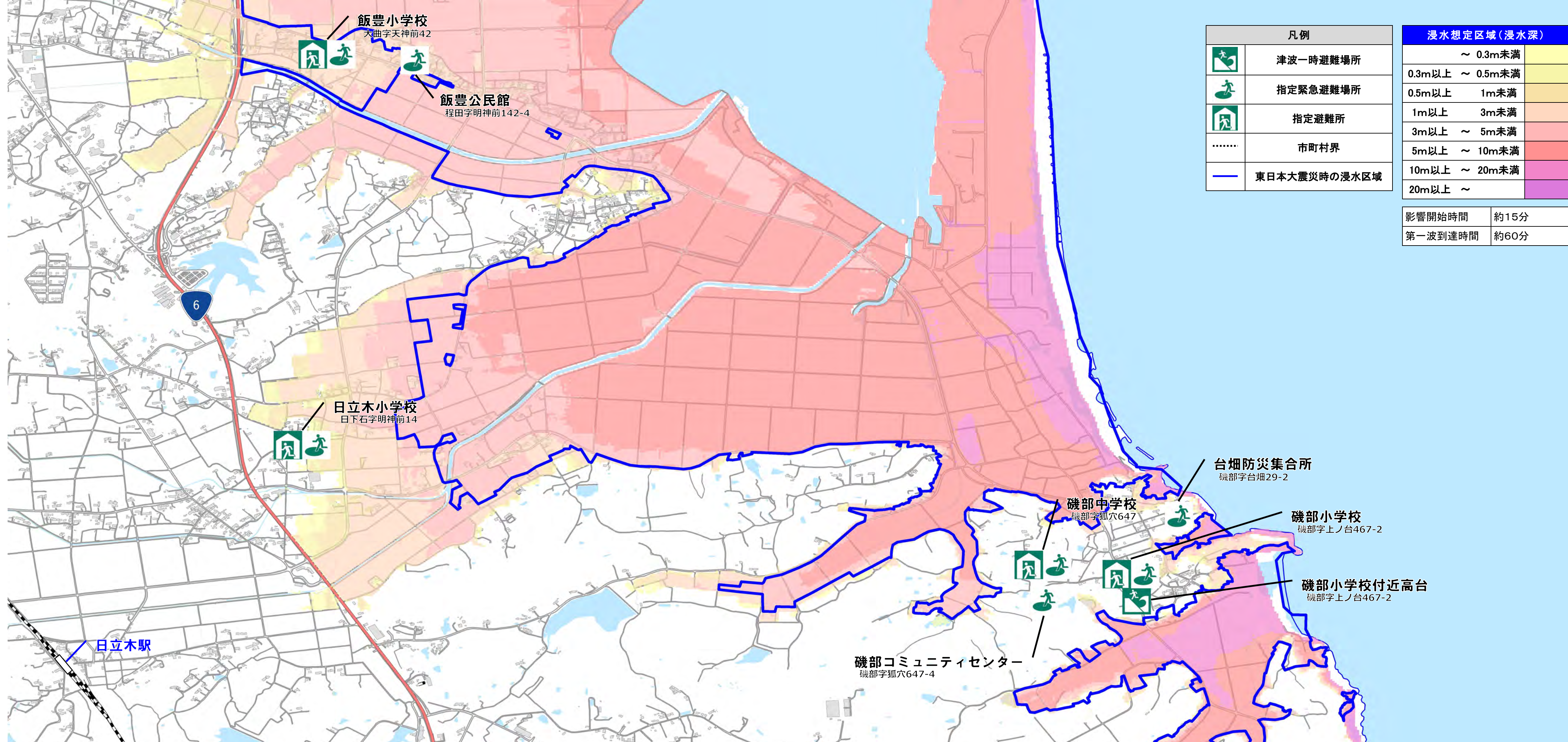
災害から自分たちの地域を自分たちで守るために、皆さんの住んでいる地区で防災訓練が行われることがあります。地区で行われる防災訓練は、自主防災組織*が主となり、日ごろから災害に備えたさまざまな取り組みを実践するとともに、災害時には、災害による被害を最小限に抑えるための活動を行います。
*自主防災組織…地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織

自主防災組織の平常時の役割

- ① 地域内の防災環境・体制の整備
- ② 防災訓練の実施
- ③ 防災知識の普及
- ④ 防災用資器材などの安全点検

自主防災組織の災害時の役割

- ① 避難誘導・支援
- ② 避難所の運営協力
- ③ 消火活動
- ④ 情報収集・伝達



凡例		浸水想定区域(浸水深)	
	津波一時避難場所	~ 0.3m未満	
	指定緊急避難場所	0.3m以上 ~ 0.5m未満	
	指定避難所	0.5m以上 1m未満	
.....	市町村界	1m以上 3m未満	
	東日本大震災時の浸水区域	3m以上 ~ 5m未満	
		5m以上 ~ 10m未満	
		10m以上 ~ 20m未満	
		20m以上 ~	

影響開始時間	約15分
第一波到達時間	約60分

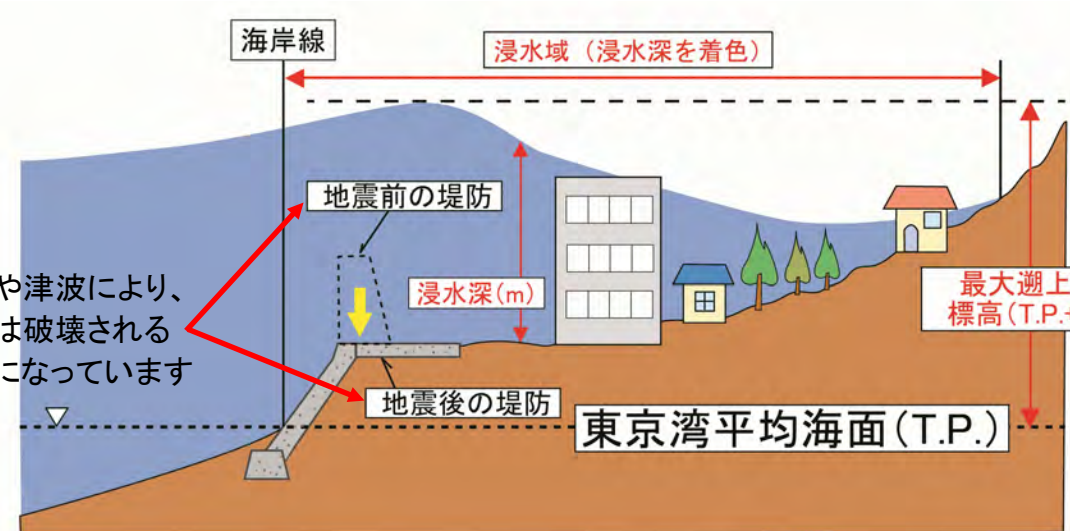
津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表	巨大地震の場合の発表	
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上1m以下の場合であって、津波による災害の恐れがある場合	1m (0.2m≦予想高さ≦1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが出し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。海水浴や釣りは危険なので行わないでください。注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え3m以下の場合	3m (1m<予想高さ≦3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台など安全な場所へ避難してください。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
大津波警報(特別警報)	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	5m (3m<予想高さ≦5m) 10m (5m<予想高さ≦10m) 10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台など安全な場所へ避難してください。警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

津波浸水想定の設定条件

津波の規模	千年に1度程度(L2クラス)
対象地震	東北地方太平洋沖地震津波(内閣府モデル)、房総沖を震源とする津波(茨城県モデル)
海面高	望望平均満潮位(T.P.+0.675m) ^{*1}
地盤沈下	0.5m超の地盤沈下を見込む

*1 東北地方太平洋沖地震の津波発生時水位はT.P.-0.6mとされていますが、今回の設定では、海面高はそれより1.275m高い状態で津波を想定しています。



最大遡上高と浸水深の模式図

どこに逃げるか確認しましょう！

■近くの避難所

■家族で連絡が取り合えないときに約束しておく待ち合わせ場所

● 普段の生活をしている時

● 仕事や学校などに出かけている時

■非常時の連絡先・電話番号

●なまえ ●TEL

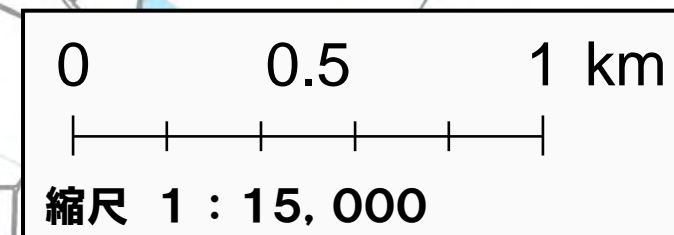
●なまえ ●TEL

●なまえ ●TEL

■Memo(大切な情報)

【災害用伝言ダイヤル】

大規模災害の発生時に、安否確認などの電話が増加し、電話がつながりにくい状況になった場合に提供されるサービスです。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 令元情使、第178号)